たかやま労基署だより(R5.05)

高山労働基準監督署

墜落•転落災害発生!

災害発生状況

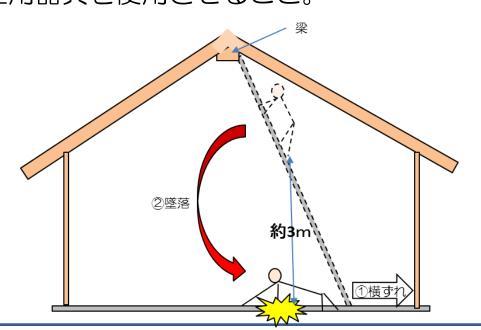
作業員が高さ約5mの箇所にある天井の梁に、は しごを掛けた上で、高さ約4mの箇所まで昇り、建 屋の電気配線の状況を確認しようとしたところ、は しごが横ずれしたため、体勢を崩し、墜落した。

災害発生原因

高さ約4mの箇所で作業を行わせるに際しローリングタワー、可搬式作業台、手すり付き脚立等を設置することにより作業床を設けなかったこと。

再発防止対策

高さが2m以上の箇所で作業を行わせる際は、 ローリングタワー、可搬式作業台、手すり付き脚立 等により作業床を設けること(※はしごの踏みさん は狭隘であるため、法定の作業床に当たりませんの で、高さ2m以上の踏みさんの上で作業させないこ と)。左記設備を設けた際は労働者に要求性能墜落 制止用器具を使用させること。

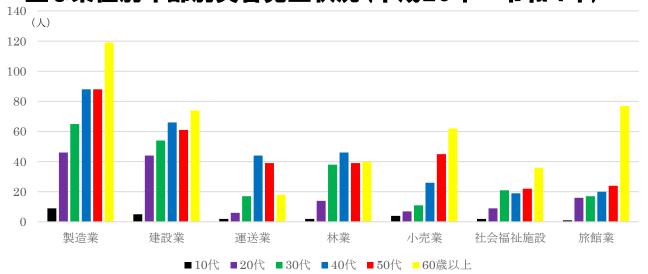


令和5年の労働災害発生状況について(4月末)

主要産業の死傷者数 注1) カッコ内は死亡者数 注2) 死傷者数は休業4日以上のもの

A									
	令和5年			△ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		令和3年		対前年比	
			内新型コロナウ イルス感染症	令和4年		(参考)		增減数、增減率	
全産業	50	(1)	4	52	(1)	41	(1)	-2	-3.8%
製造業	16		0	11		12		5	45.5%
建設業	7		0	9	(1)	10	(1)	-2	-22.2%
運送業	0		0	2		4		-2	_
林業	2		0	5		1		-3	-60.0%
小売業	3		0	9		4		-6	-66.7%
社福祉	7		4	1		4		6	600.0%
旅館業	5		0	3		3		2	66.7%
その他	10	(1)	0	12		3		-2	-16.7%

主な業種別年齢別災害発生状況(平成25年~令和4年)



製造業、建設業、小売業、社会福祉施設及び旅館業において、60歳以上の高年齢労働者が最も多く被災しています。また林業においては30代の労働者から高年齢労働者まで幅広く被災しています。働く世代の高年齢化に伴い、高年齢労働者の死傷者数の増加に伴い、身体機能の低下等に起因する労働災害が増加しています。